

プレスリリース

川崎市立川崎高校福祉科で出前授業

～看民工学のマインドを持つケア従事者の育成を目指して～

- 9/11(水)午後2時～3時45分に川崎市立川崎高校(川崎区中島町)にて、同校福祉科3年生を対象とした出前授業を初めて開催。取材歓迎。
- 少子高齢化によりケア人材不足が深刻化し、過重労働など労働環境が悪化する中、次世代人材の確保が課題。
- 人の手に頼ってきたケア業務に理工学の積極的介入を行うことで、従事者負担を軽減する看民工学(民を看る工学)の重要性を学ぶ。
- 文科省/JST COI-NEXT 川崎拠点(プロジェクトCHANGE)の活動に対し、ケア従事者を目指す福祉科の生徒との共感を醸成し、将来の実装フェーズに備える。

報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

文部科学省・科学技術振興機構が主宰する「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」川崎拠点(プロジェクトCHANGE:プロジェクトリーダー 一木隆範)は、川崎市立川崎高校(校長:岩木正志先生、所在地:川崎市川崎区中島町)にて「看民工学(民を看る工学)」をテーマとした出前授業を後述の要領にて行います。対象は、同校福祉科3年生 34名。高齢化に伴い入院加療を必要とする方々が増えている現状に反して、少子化により医療従事者が不足していく状況にあり、特に医療従事者の多くを占めるケア従事者(看護師、介護士など)の過重労働が深刻化することで早期離職に繋がる悪循環が生まれています。特に川崎市の人口10万人あたりの看護職員数は791.2人(R4年度厚労省衛生行政報告による。全国平均は1,049.8人)と全国的にかなり低く、プロジェクトCHANGEに参画する川崎市看護協会(会長:堀田彰恵氏)では、「過重労働は従事者の健康的生活を蝕み離職の原因になるだけでなく、医療事故に繋がる危険性を高めるため患者の安全を守る上でも深刻な問題です(堀田会長)」ということから人材確保を最重点課題として捉えています。

プロジェクトCHANGEでは川崎市看護協会と強力なタッグを組み、①病院における看護師負担の軽減と②地域・在宅医療における24時間みまもりを可能とする道具やシステムの研究開発を進めており、今後益々深刻化する少子高齢社会におけるケアデザインを実践しようとしています。このマインドを引き継いで、実装フェーズを担う次世代人材の育成は、本プロジェクトのゴールである「レジリエント健康長寿社会の実現」に不可欠であり重要な活動の一つとして位置付けられています。神奈川県内に福祉科を持つ高校は2校のみで、その特異性を活か

した教育を同校では行っています。福祉科科长の佐藤智広先生は、「少子高齢社会において、医療や介護を必要とする方々が、自らの力で自律をして生きがいをもって生活していくためには、保健・医療・福祉がどのように理工学と連携し、どのような社会を構築したら良いのかを国家資格である介護福祉士を目指す生徒の視点で考えさせていきたい」と今回のイベントへの期待を示しています。

今年度は、4月17日に Horizon Japan International School（横浜市神奈川区）の Grade 10 Students（高校1年生に相当）を。8月8日に、中高一貫の女子校である私立洗足学園（川崎市高津区）の高校1年生から理系志望の選抜生徒をインターンシップ生として受け入れ、それぞれ、研究者との交流会や体験学習を行いました。また、11月29日に川崎市立川崎総合科学高校科学科（川崎市幸区）でも今回同様の出前授業を行う予定です。これらの高校生をプロジェクト CHANGE では、Future Opinion Board (FOB) として位置付け、12/13 に予定している CHANGE シンポジウムでは、高校生たちにも登壇頂き、今の若者の感性で、プロジェクト CHANGE の活動に対する意見や感想を伺います。

参考：

[iCONM KIDS あいこんきっず » 洗足学園高等学校インターンシップ生が iCONM の研究員と交流 \(kawasaki-net.ne.jp\)](https://www.kawasaki-net.ne.jp/iconm-kids-aiikonkissu)



記

日時：2024年9月11日（水曜日）14:00-15:45

場所：川崎市立川崎高校（正面玄関ホールに13時半集合をお願いします）

[アクセス | 川崎市立川崎高等学校（全日制） \(kaw-s.ed.jp\)](https://www.kaw-s.ed.jp)

対象：同校福祉科3年生（34名）

講師：八木美智子（公益社団法人川崎市看護協会 常務理事）

島崎 眞（川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター コミュニケーションマネージャー・プロジェクト CHANGE 副プロジェクトリーダー）

取材申込：9/4 までに、以下の項目を記したメールにてお申込みください。

- ① 氏名
- ② 所属・媒体名
- ③ 当日連絡の取れる電話番号

E-mail 送付先: iconm-pr@kawasaki-net.ne.jp

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成27年4月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）について

大学等が中心となって未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラム。JSTの既存の拠点形成型プログラムの1つである、センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムがコンセプトとして掲げる「ビジョン主導・バックキャスト型研究開発」を基軸とした制度設計を行ったことから、本プログラムの愛称を「COI-NEXT」ともいいます。知と人材の集積拠点である大学等のイノベーション創造への役割が増している中、これまでの改革により、大学等のガバナンスとイノベーション創出力の強化が図られてきました。今後、「ウイズ/ポストコロナ」の社会像を世界中が模索する中、我が国が、現在そして将来直面する課題を解決し、世界に伍して競争を行うためには、将来の不確実性や知識集約型社会に対応したイノベーション・エコシステムを「組織」対「組織」の産学官の共創（産学官共創）により構築することが必要となります。

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/outline.html>

プロジェクト CHANGE（COI-NEXT 川崎拠点）について

拠点ビジョンとして「医工看連携が先導するレジリエント健康長寿社会の実現」を掲げ、そのためのターゲットを4つ策定しました。①みまわり技術でどこでもいつでも診断。②長寿メドテックで安全・安心な在宅医療。③老化制御で健康寿命延伸。④長寿イノベーションを加速する社会基盤。そして、これらをターゲットとした研究開発テーマを5つ立ち上げ、革新的な研究開発が進められています。①健康みまわりセンシングシステムの開発。②生体I/Oデバイスによる優しい医療介入技術の開発。③老化を診断・治療するスマートナノマシンの開発。④長寿イノベーションの実現に向けた市民啓発と実証フィールド構築。⑤長寿イノベーションの社会実装。血液検査など医療機関に行かなくては受けられない検査や診断をできる限り家庭で、医師・看護師でなくても誰もができるための道具や仕組みを創出し、また、健康寿命を損なう組織や筋肉の老化を抑制することで健康長寿社会の実現を目指します。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

川崎市立川崎高校福祉科について

川崎市初の公立中高一貫校である同校は、川崎市立川崎高等女学校を前身とし、普通科に加えて生活科学科と福祉科を全日制に持つ県内でも大変ユニークな高校です。福祉科では、①人格を育てるための高等教育、②ノーマライゼーション等の考えや福祉マインドを広く学ぶ福祉教育、③介護のスペシャリストを目指した福祉専門教育、④社会福祉、地域社会のリーダーを目指したリーダー教育を教育の柱とし、様々な人々とともに生きる豊かな人間関係を育み、他人を思いやる心の醸成と、人間的な成長を目指しています。

<https://www.kaw-s.ed.jp/kawasaki-hs/custom1.html>

2024年8月27日